

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準
 4:よく取り組んでおり、成果が大きい
 2:取り組んでいるが成果が十分でない
 3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる
 1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ	学校関係者意見等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる ・いろいろやってくれている ・徹底が難しい ・個人指導が大切 ・隙間時間で一齐にさせたい ・そろばんは計算力向上にいい ・中学校で落ちこぼれる、小学校での勉強が大切 ・改善策も、継続されて実施しているのが多いのは、素晴らしい、引き続いて実施すると良い	4	5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校づくりに取り組む ・保護者アンケートで、先生の評価が去年より下がっている。(平均年齢が大きく下がった) ・若い先生は、一生懸命取り組んでいる、余裕や遊びがない面もある。 ・先生が若返った分、指導が大変だろう。若い先生に方程式を教えるだけでは駄目。子どもが抱きつくような先生を育てよう。これからの学校は校長・教頭が先生を鍛える必要がある。大変だろうと思う。 ・防犯名和の交流会でも、お互いを知らない人がいる。会で自分を開くことが大事。自分のことを知ってもらおう。	4
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る ・児童理解研修を年に2回持っているところが評価できる ・人権教育されている ・道徳とかみ合って取り組んでいる ・子どもの困ったことは終わりの会で解決されているのがいい ・	4	■教育目標 ・知・徳・体の目標になっている。良い目標。 ・バランスよく育てることが大切。 ・しっかり育てていって欲しい。	3
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む ・アレルギー対策が学校全体で協力して安全にされているのが評価できる ・アレルギー、昔は少なかった、ご苦労様 ・体の健康は全ての基、是非頑張ってもらいたい	4	■研究テーマ ・研究テーマのもとしっかり取り組んでいる。 ・この調子で継続していくことを願う。	4
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る ・集団登校、集合時間の設定は学校ではなく、各班で ・出発のタイミングは自分たちで ・班長は班の年長者が引き受ける ・近くの子の登校が遅い ・防災避難訓練は年3回できている ・地域も津波想定避難場所を共有しておく、学校は子ども達がいる時、地域の入る余地はない ・自転車の乗り方が危ない、自転車教室等実施してほしい、自転車が車道を通るのは怖い	3	■学校に対して ・自己評価は甘くないところがいい。 ・実際よくやっている。 ・よくやってくれているのが資料等から分かって嬉しい。 ・このような言える場所があって嬉しい。 ・言えるのは、言っても包み込んで聞いてくれる校長・教頭の人柄がある。 ・改善すべき点、悪い自己評価が本当に書いているのがよい。	4
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ		
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A		
自己評価の結果の内容は適切か	A		
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B		